

尾瀬の四季

尾瀬の四季は特徴的です。四季折々の見所を体験するために、多くの人が年間を通じて繰り返し訪れます。

春

5 月初旬に雪が溶け始める尾瀬では、春は遅い時期にやってきます。ビジターセンターが営業を開始し、山小屋は雪の下から掘り起こされて訪問者を受け入れ始めます。5 月下旬から 6 月中旬まではミズバショウの季節です。ミズバショウの白い花は湿原を明るく彩り、多数の訪問者を呼び寄せます。その後、リュウキンカが明るい黄色の色彩を景色に加えます。

夏

夏は、最も山に入りやすく、盆地が最も緑に覆われる季節です。7 月には湿原はワタスゲで白くなり、その後ニッコウキスゲの花が咲くと明るい黄色に変わります。夏は尾瀬の花（そして訪問者）のピークの季節です。登山者は多くの山へ登るために、そして一般の訪問者は湿原に渡された木道からの景色を楽しむために、ここへやって来ます。

秋

尾瀬の秋が始まる 8 月下旬になると、気候が涼しくなり、動物たちは長い冬眠の準備を始めます。9 月には木の葉の色が変わり始め、湿原の草やその他の植物が秋らしい金色になります。その後、山々のカエデやブナなどの木々が明るい赤・黄・茶色に色づきます。雪は 10 月に降り始めて 11 月までには深く降り積もり、公園の大部分の場所は春まで訪れることができなくなります。

冬

10 月中旬から始まる降雪は、やがて尾瀬全域を深い雪の国に変えます。公園の職員と山小屋は設備が雪や寒さに耐えられるように準備してから、冬の間公園を離れます。公園の一部では 3～4 メートルも積もることがある雪の層は、公園の生態系を維持する上で大きな役割を果たしています。この雪の層は、真冬は冷たい風から植物を守り、春の終わりに雪が溶けると新芽の成長を育みます。